

## (6) アスファルト合材

### 新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における平成30年4月～6月期の合材出荷数量は、前年同期比105%と前年を約12,500トンを上回る282,440トンとなった。この要因は、新年度発注工事に加え高速道路の舗装修繕への出荷が始まり、冬季の降雪により順延された工事分の出荷が影響したものと思われる。

地区別では、中越地区が全ての月で前年対比を下回り合計72,280トン、前年対比90%・8,250トン減で唯一減少した地区となった。下越地区は151,660トン、前年対比110%・13,710増、上越地区は51,920トン、前年対比114%・6,410トン増、佐渡地区は6,580トン、前年対比112%・720増となった。

第2四半期の動向は、高速道路の舗装補修に係る出荷が順調と想定されるが、国道等の大型公共工事の本格的な施工は第3四半期以降とみられ、地元自治体や民間舗装工事はやや低調に推移すると見込まれ大幅な出荷増の期待は薄い。また、1月に続きストレートアスファルトが値上がりし、その他重油等の油脂類も値上がりした。今後もアスファルトや油脂類の価格下降の様相はなく、合材工場の運営は依然として厳しい環境にある。

### 富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における平成30年度4月～6月期、出荷状況は、県計で9万1千トンで前年同期と比べ24%の減となった。地区別で見ると東部地区が4万9千トンで22%の減、西部地区でも4万2千トンで26%の減となった。

これは、公共工事の発注遅れと民間工事が少なくなったことで前年より、減となった。

7月以降は県、市町村工事が全県内で発注が見られるが期待されるほどではない。しかし、第2四半期は第1四半期より増となる見込み。

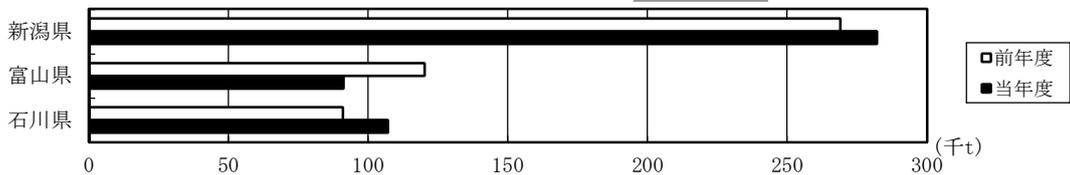
### 石川県

記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における平成30年度4月～6月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比14.9%増、能登地区で前年比27.5%増、石川県全体では前年比17.6%増となった。

これは今年冬の大雪により1月～3月期の出荷が少なく、4月以降に工事がずれ込んだ影響があったのではないかとと思われる。7月以降に関してはアスファルト関連について大きな物件も少なく、加えてアスファルトやその他材料の価格は上昇の様相となっており一段と厳しい状況となっている。

アスファルト合材出荷量の推移(4月～6期)



(単位:千t、%)

県	地区	平成29年度 年計	平成30年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	16	16				▲72
		185	52				52
	中越	▲11	▲10				▲78
		325	72				72
	下越	▲2	9				▲74
		571	151				151
佐渡		▲8	17				▲71
		24	7				7
	県計	▲3	5				▲74
		1,105	282				282
富山県	東部	▲12	▲22				▲80
		250	49				49
	西部	▲1	▲26				▲80
		206	42				42
県計	▲7	▲24				▲80	
		456	91				91
石川県	加賀	▲8	15				▲75
		323	82				82
	能登	▲11	28				▲73
		92	25				25
県計	▲9	18				▲74	
		415	107				107

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

富山県

石川県

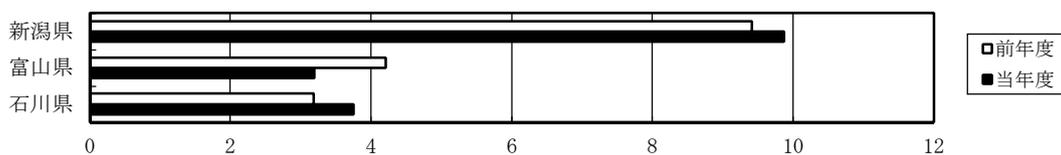
会員32社のうち32社

会員14社のうち14社

会員18社のうち12工場分

# ◎参 考 資 料

## アスファルト出荷量の推移（4月～6月期）



(単位：千t、%)

県	地区	平成29年度 年 計	平成30年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上 越	16 6.5	16 1.8				▲72 1.8
	中 越	▲11 11.4	▲10 2.5				▲78 2.5
	下 越	▲2 20.0	9 5.3				▲74 5.3
	佐 渡	▲8 0.8	17 0.2				▲71 0.2
	県 計	▲3 38.7	5 9.9				▲74 9.9
富山県	東 部	▲12 8.8	▲22 1.7				▲80 1.7
	西 部	▲1 7.2	▲26 1.5				▲80 1.5
	県 計	▲7 16.0	▲24 3.2				▲80 3.2
石川県	加 賀	▲8 11.3	15 2.9				▲75 2.9
	能 登	▲11 3.2	29 0.9				▲73 0.9
	県 計	▲9 14.5	18 3.7				▲74 3.7

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量  
「アスファルト出荷量 (千 t) =アスファルト合材量 (千 t) ×3.5%」